

# 地域共生型福祉研修会

社会福祉法人 尾道さつき会

〒722-0042 広島県尾道市久保町 1786 番地

## 助成事業の概要

### 【実施目的】

強度行動障害を有する方に対する市民的な理解を深める機会をすることで、障害の種別や程度に関わらず、誰もが安心して暮らすことができる地域社会のまちづくりの一助となる。

### 【開催時期】

令和 5 年 12 月 10 日 (日)

### 【内 容】

#### (1) 開 会

開会挨拶 尾道さつき会理事長 平石 朗 氏

#### (2) 行政説明

演 題 「第 6 期障害福祉計画について」

講 師 尾道市福祉保健部社会福祉課 課長

水田 章治 氏

#### (3) 講 義 1

演 題 「自閉症の方の支援とは何か」

講 師 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医

療福祉学科 准教授 諏訪 利明 氏

#### (4) 講 義 2

演 題 「障害のある方の住まいの場～建築からの提案」

講 師 株式会社コンテンポラリーズ/関東学

院大学教授 建築家 柳澤 潤 氏

#### (5) シンポジウム

テーマ 「強度行動障害のある方の特性理解と支

援方法を考える」

コーディネーター

下垣内多喜子氏 (尾道市障害者サポートセンターはな・はな相談支援専門員)

シンポジスト

田中 貴美 氏 (広島県立尾道特別支援学校 校長)

諏訪 利明 氏 (川崎医療福祉大学准教授)

小田桐早苗 氏 (川崎医療福祉大学講師)

永井 孝一 氏 (尾道さつき会障害事業部長)

#### (6) 閉 会

閉会挨拶 尾道さつき会理事 小林 積 氏

## 事業の成果

### (1) 参加者数

103 名 (定員 100 名)

### (2) 参加者内訳

行政関係者、障害事業所関係職員、手をつなぐ育成会会員 (利用者家族)、教員、会社員

地区団体役員、地域住民

### (3) 具体的成果

本研修は、新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行した後に開催したことから、対面方式で実施しました。開催に合わせて尾道市及び尾道市教育委員会、尾道手をつなぐ育成会に後援の協力等をいただくことができました。

本研修の最大のテーマである「強度行動障害を

有する方の地域住民の理解の輪を広げる」を目標とし、障害福祉担当の行政職員や障害者支援の輪を拡げるため全国で活躍をされている先生方が登壇し、障害福祉計画の説明や自閉症の障害特性などについて分かりやすく説明をしていただいた。

また、令和6年4月に当法人が開設予定の重度対応型複合サービス事業所「ブライト」を設計した、建築家の柳澤氏からも、建築という新たな視点で障害のある方の暮らしをどう支えるかについての講演をいただいた。

さらにシンポジウムでは、前述の講師陣に尾道特別支援学校の田中校長先生と、中国地区で多数の福祉事業所のコンサルタントを担当する川崎医療福祉大学の小田桐先生も加わり、学校現場における取り組み事例や、支援の実践例等を紹介いただくことで、強度行動障害を有する方への配慮するポイントについても更なる理解が深まったと思います。

また、質疑の場面においては、児童の当事者を抱えられている家族より、これからの進路を選択する上で、実際に市内には行き場がない等の意見をいただき、今後も更なる地域課題の整理が必要であるということが研修参加者に共有できたものと考えられる。

本研修会終了後も、電話等で「研修内容がとても良かった」という声や、「他の地域でもこのような研修会を企画したいので、ノウハウを教えてください」等、関係者にとっても満足度の高い研修会になったと思われる。今後の継続開催についても協議検討していきます。

## 成果の広報・公表

本研修会の広報並びに公表について、当法人が管理・運営をしている情報媒体やメディアに向けたプレスリリース等を活用することで、幅広く情報

発信をしていきたいと考えています。なお、具体的には以下の3点を実施予定しています。

### (1) ホームページによる公表

本研修会の実施内容及び開催時の写真等をホームページに掲載し、公表する。

### (2) 法人広報誌による公表

当法人が定期的に発行しています法人広報誌「広報さつき」において、本研修会の実施内容や成果等を公表する。

### (3) 記者クラブ等メディア関係へのプレスリリース

本研修会の開催と新たな事業所開設について、すでにメディア関係者に向けたプレスリリースを実施しています。尾道市役所の秘書広報課広報広聴係に設置している報道関係のボックスに投函したところ、現時点で新聞社が1社、地域の経済情報誌発行機関が1社の合計2社より取材がありました。今後も地域等に対し、障害福祉の理解の輪を広げる目的としての情報発信を引き続き行っていきます。

## 今後の展開

本研修会を企画し実施するきっかけとなった、令和6年4月に開設予定の重度対応型複合サービス事業所「ブライト」では、強度行動障害を有する方に特化した支援を目指しています。引き続き専門機関や関係団体、市内の事業所等と連携を図りながら、出前講座や事例検討会などを積極的に実施していく中で、地域で将来にわたって質の高い障害福祉サービス等を安定的に提供できる体制づくりに努めていきます。

また、障害のある方をはじめ、全ての人々の人権が尊重され、あらゆる面での差別がない、平等なバリアフリー社会を築く一助になれるよう今後も活動を続けていきたいと考えています。

さらに、当法人の基本理念にもあります「全て

の人が安心して生活できる地域社会の実現」に向け、本研修会に参加いただいた皆さまや、関係者の皆さまからの意見を参考に、更なる地域課題の整理に取り組むとともに、包括的な支援体制の構築、社会資源の開発などに向け邁進していきます。